

奥州市議会
第2回定例会

市政はどうなる？ 施政方針 示される



郷右近市長は、冒頭に「市民との対話による信頼回復」と「現場主義の徹底」を市政運営の根幹に据えることを強調しました。すでにトライアルとして行われている市民と直接対話する「奥州ミーティング」を進め、自ら現場へ赴き、課題に向き合っていくと述べ、前市政との違いを強調しているのです。

強調される
「市民との対話による信頼回復」

6月5日、奥州市議会第2回定例会が開会しました。この日は、施政・教育行政方針演述や議案の提案説明、発議案の採決等が行われました。

郷右近新市長は、施政方針演述を行い、これから本格的な論戦が始まります。今号では、演述の内容について日本共産党議員団としての見解をお知らせします。



「子育てするなら奥州市
いわてNo.1宣言」

市長は続けて、人口減少に言及し、「若者が未来に希望を持てるまちづくりを進めるため、教育と子育て環境の改善こそが最も価値ある投資」と述べました。その政策の一つとして、**小中学校の給食費無償化**を掲げています。

子育て環境の「いわてNo.1」を掲げるならば、もちろん出産できる環境づくりが不可欠ではないでしょうか。

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

新医療センター整備計画の
凍結で地域医療はどうなる？

市長の大きな方針として挙げられるのが「新医療センターの凍結」で、県立胆沢病院と江刺病院を核とした新たな地域医療のブランドデザインを再構築することです。

総合水沢病院の老朽化や耐震性能不足については、施設的安全対策を早急に講じる、としていますが、耐震補強や修繕では十分な打開策にならない所まできています。どのように住民が望む医療体制を提供していくのかを含めて、市長の動向を注視していかなければなりません。

5つの個性が輝く副県都・奥州

施政方針の中で市長は、「副県都の再生に全力で邁進する覚悟」と述べました。単純に盛岡市に次ぐ人口数だけでは、口にするのはばかられます。

11日には、施政方針演述に対する質疑が行われ、12日からは一般質問がスタートします。日本共産党奥州市議団は、市民のいのちとくらしを守る立場から、市政課題を追求していく決意です。

(日本共産党奥州市議団)

戦争とめる！憲法まもる！

ペンライトスタンディング

in Zプラザアテルイ

6月20日(土) 19:00

Zプラザアテルイ交差点にて♪



今度はペンライトが映える時間帯に！光るもの、アピール物を持って集まれ！たくさんのご参加を♪

国民平和大行進 2026



～6月19日(金)～

12:30～ 歓迎・引継ぎ式

★コープアテルイ2階 会議室

13:00～ デモ行進

★Zホール、慶徳公園付近